

はじめに

本論は、都市環境のパブリックスペースを構成する施設や工作物、製品(パブリックプロダクト)等の人工物要素を都市環境装置と総称し、デザイン領域におけるパブリックデザイン(都市環境装置デザイン)の位置づけと考え方を考察することによって、パブリックスペースとパブリックプロダクトをデザインするための都市環境装置を企画・デザインする方法を提示することが目的である。また本論は、都市環境装置が単体で成立できるものではなく複数設置されるものであり、都市環境装置一つひとつの相互の調和や連続性が、設置される地域の環境特性や公共空間の特性とよりよい関係を創り出す役割を担っていることを基本認識に据えて、その企画・デザインの考え方と方法の考察を行うものでもある。

1. パブリックデザインは環境デザインの一領域

環境デザインは、人間生活の場を形成するデザイン全体を指すもので、パブリック、プライベート、インテリア、エクステリア、そしてこれら中間またはグレーゾーンなどすべてを包含する。このことからパブリックデザインとは、集団的に所有し維持管理され誰でもがいつでも立ち入れる空間領域を企画・計画・設計する環境デザインの一領域ととらえなおすことができる。

2. パブリックデザイン—インダストリアルデザインに立脚した関係のデザイン—

2.1 デザイン分野別の環境デザインの解釈

環境デザインの言葉の始まりが何であったのか、明確な経緯は明らかではないが、1960年代、戦後社会において人間生活そのものを問い直すとする考え方を背景に生まれてきたのではないかとされている。また、環境デザインはあらゆるスケールの物理的環境を取り上げるよう努めるものとされる。それは、人や製品などのマイクロ(micro-小さな)スケール環境から、建物や公園などのメソ(meso-中間的な)スケールの環境、そして地域や都市などのマクロ(macro-大きな)スケール環境に及ぶものである。環境デザインの対象となるマイクロ、メソ、マクロなスケールの物理的環境と既存のデザイン分野における環境デザインの解釈の関係を考えてみる。

(1) 全体から部分をとらえる環境デザインの解釈

アーバンデザインは、都市・地域スケール全体のマクロから施設、街路、公園などのメソのスケールの構成要素への視点をもつ環境デザインである。シビックデザイン、ランドスケープデザイン、そして建築デザインは、メソなスケールの環境(構成要素)構築を中心に、マクロとマイクロなスケールの環境へベクトルを向け

る視点からの環境デザインといえる。これらの分野における環境デザインは、アーバンデザインがマクロな都市・地域全体の構築、シビックデザイン、ランドスケープデザイン、建築デザインがメソ的な都市施設を構築することに立脚点を置き、マクロまたはメソから人を含めたマイクロな構成要素との関係づけを行う環境デザインの取り組みであるといえ換えられる。

(2) 部分から全体をとらえる環境デザインの解釈—パブリックデザインはインダストリアルデザインに立脚した環境デザインの一領域—
環境デザインの解釈には、部分(マイクロ)から中間(メソ)そして全体(マクロ)をとらえる考え方がある。まずインテリアデザイン(Interior Design)の分野は、内部空間のしつらいによる環境デザインといえ換えることができ、メソ的施設を内側からとらえマイクロ的な要素とメソ的施設空間との関係をマイクロからメソにアプローチする環境デザインといえる。

またインダストリアルデザインは、都市の外部空間と内部空間に存在するマイクロな構成要素の計画設計に携わる分野であり、産業基盤を背景に生産物・製品(モノ:products)をメソ的なさまざまな都市施設に供給する。このことからインダストリアルデザインの分野は、土木や造園、建築の分野がメソ的な特定の場(都市施設)を立脚点とするのに対し、生産されたマイクロ的なモノを立脚点とする。インダストリアルデザイン分野における環境デザインの解釈は、モノのマイクロ的な要素からさまざまなメソ的な要素へ関係づけるのとらえかたである。またインテリアデザインも対象をメソ的施設の内部空間におき、マイクロな構成要素に立脚することから、インダストリアルデザイン分野の環境デザインの解釈に含むことができる。

各デザイン分野の具体的な計画対象を考えると、主にアーバンデザイン、シビックデザイン、ランドスケープデザイン、建築デザインが対象とする特定の場(マクロの地域やメソの都市施設など)の多くが前述した都市のパブリックスペースであり、マクロ、メソからマイクロへベクトルを向ける関係のデザインとして位置づけることができる。これらに対してマイクロ的なモノからメソ的なさまざまなパブリックスペースへベクトルを向け関係をデザインすることが、インダストリアルデザイン分野での環境デザインの方向といえる。つまりパブリックデザインは、インダストリアルデザインに立脚した環境デザインの一領域となる。この環境デザインにおけるベクトルの方向<マクロまたはメソからマイクロをとらえる方向と、マイクロからメソそしてマクロをとらえる方法>の違いが、企画から計画そしてデザインにおけるプロセスと観点の違いに反映される。